

令和8年第6回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和8年4月24日（金）

II 会議時間

開会時間：10時00分

閉会時間：11時00分

III 出席委員

教育長 多田 一也

教育長職務代理者 小野 文子

委員 横山 純子

委員 板倉 宏

委員 前田 和郎

IV 欠席委員

なし

V 説明のため出席した職員

教育次長 琵琶 学

教育総務課長 清輔 一智

就学前教育課長 尾崎 正道

学校教育課長 濱浪 雅登

社会教育課長 久富 真吾

（書記）遠藤 真由

VI 会議内容

1 開 会

2 会議録の承認

なし

3 教育長の報告

年度末から年度初めにかけて、3件の寄贈があった。内訳は、お仕事ノートの寄贈が1件、宇野清港会から小学校1年生に対する鉛筆5本の寄贈が1件、そして3月末に消防の活動服を加工して作られた小学校1年生向けの巾着の寄贈が1件である。

4 議 事

（1）議案第14号 玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について

（社会教育課長） 資料により説明

提案理由は、本年4月末で委員の任期が満了することに伴い、全委員について新たに委嘱するもの。玉野市立公民館条例第5条第2～3項にあるように、本審議会委員は、学校教育及び社会教育

の関係者、家庭教育関係の活動を行っている者、学識経験のある者から新任3名、再任6名の計9名に委嘱予定としている。なお、委員の方には内諾済みであり、5月26日に開催予定の公民館運営審議会の方で委嘱状を交付する予定としている。

5 協 議

(1) 令和8年度 教育行政重点施策(第1稿)

(教育総務課長) 市全体の「玉野市総合計画」において教育委員会に関連する分野別計画として位置づけられている「教育振興基本計画」がある。教育行政重点施策は、令和8年度予算に基づいて、何を重点的にどのように実施していくかを定めたものである。

資料には、各政策・施策の中で教育委員会が掲げる重点施策が列挙されている。それぞれの施策に対応する事業には実際に予算がついており、本年度に実施する内容が記載されている。

(各課長) 資料により説明

(板倉委員) 令和8年度の目標値について、昨年度から令和8年度の目標値が示されており、それは変更はされていないようだが、これまでの実績を考慮して修正することがあってもよいと思う。この目標値というのはそのような性質のものではなく、最初に掲げてそこを目指していたからそのまま残すようなものと捉えたらよいのだろうか。

(教育総務課長) 目標値については、令和5年3～4月に策定された総合計画と連動しており、その時点で令和8年度の目標値も決めている。そのため、昨年の段階で届かないのではないかという状況になっても、変更はできない。

(横山委員) トイレの洋式化率の算出は、どのように出しているのか。

(教育総務課長) 大便器について、全体の個数に対して、洋式便器がいくつ設置されているかを出している。

(横山委員) この目標値は令和5年度に出している目標値であって、今年どうなるかというのは、実績値と齟齬する可能性があるということになるか。

(教育総務課長) 目標は先に定めたものである。令和7年度の実績値については、まだ精査済みではないが、内容としては、今回の大規模改造の中で宇野中学校を洋式化する。その結果を基にまた算定するが、設計の中で洋式化するとブースの大きさが変わり、仮に和式の便器が3つ並んでいたところを洋式にすると2つしか入らないといった理由などもあり、数が変わる可能性もある。それを踏まえ、最終的に結果として8年度に実績を出す予定である。

(横山委員) 令和8年度の目標値について、今年度の工事をするによって7割が洋式化になると見えるが、そういうわけではないのか。

- (教育総務課長) 5年の総合計画策定時点で定めたものである。順調に来ていない状況は確かであるため、この目標値には届かない。
- (横山委員) これより下回るということになると、令和8年度は実態ベースではどのくらいの洋式化率になっているかと思っていればよいか。
- (教育総務課長) 今年度の工事内容を確認できていないが、目標値よりは少し下回るペースになってきている。
- (前田委員) 園庭開放の利用者数の目標値について、令和6年、7年の実績値に対し、目標値が大きすぎるように見える。これに対して取組内容の予算額が園庭開放に関わるお金の部分だとは思いますが、実際に園庭の設備等の費用はこれの中に入っているのか。
- (就学前教育課長) 新しい設備を作ることは今年度は考えていない。実際、こちらの予算額は人件費が含まれていない額となっている。槌ヶ原や築港に対しても実施しているが、そこに対する委託料も含まれておらず、玉原の消耗品等しかあがっていない。子育て支援センター運営事業として実際に要する経費としては3千万円くらいである。
- (前田委員) この利用者数が2年間同じくらいの数字で推移しているところを見ると、これが一気に倍以上になるというのは、なかなか目標値として難しいのではないかと思う。
- (就学前教育課長) おそらく、この目標を設定した時には待機児童が問題視されており、保育園や幼稚園に入れないお子さんがたくさんおられたことから、園庭開放で子育て支援を進めていこうという流れであったためだと思う。現状は園児数も減ってきており、大体の子どもが保育園や幼稚園に入ることができるため、そもそも園庭開放の利用者数も母体数が減ってきて、伸びてこない現状があるのだと思う。
- (横山委員) 「目標値については令和5年度に策定したものである」という文言を入れたらどうか。
- (教育次長) 注釈を入れさせていただく。

6 報 告

(1) 玉野商工高等学校の今後について

- (教育次長) 資料により説明
- 玉野商工高校の今後については、3月議会に現状について報告している。それに引き続き、玉野市立玉野商工高校の在り方検討委員会を設置したいということ、4月30日の総合教育委員会で報告する予定である。
- 玉野商工高校を取り巻く現状や課題としては、具体的には入学者数の減少や高校無償化による公立離れなどの状況がある。これからの高校教育における玉野商工高校の役割、また教育の質を担保

する適正規模について検討し、今後の在り方について様々な立場の方々からの意見を伺うことを目的として設置したいと考えている。

名称は「玉野商工高校在り方検討委員会」、委員の構成は、校長、教頭、PTA 代表、学校運営協議会の委員代表、同窓会の代表、市内事業所の代表、中学校長会の代表、行政関係の職員という形で構成し、様々な意見をいただきたいと思っている。

今後のスケジュールとしては、4 月 30 日の総務部教育委員会の協議会において、7 月に在り方検討委員会を設置し、第 1 回の検討委員会を行うことを報告する。令和 8 年度については 3 回程度行い、9 年度に 2 回程度、その間に中学校、高校の保護者等へのアンケートを実施し、今後どういうふうな形で商工高校があるべきなのか、いろいろな意見をアンケートでも取りたいと思っている。そういったものをまとめて、令和 9 年 6 月頃には在り方検討委員会として意見を取りまとめ、意見書のような形で教育委員会に出していただきたいと考えている。

(2) 令和 8 年度 3 月定例市議会一般質問概要について

(教育次長) 資料により説明

(3) 「玉野市史Ⅱ」の進捗状況について

(社会教育課長) 資料により説明

編さんの目的ですが、現在の市史は昭和 45 年刊行ですでに 50 年以上経過し、その間に世の中も大きく変化した。世の移り変わりなどを後世に伝えるために、新たな続編、玉野市史Ⅱとして編さんを進めているところである。

株式会社ぎょうせいに編さん業務を委託し、契約期間は令和 4 年から令和 8 年の 11 月末である。発行部数は 1,000 部、サイズは B5 判で、現在の市史 (A6 より若干大きいサイズ) より大きくなり、中の記載は縦組の 2 段となる。現市史より字数も増え、字も大きくなるため、少し見やすくなると思う。しつらえは現在と同じく布で覆われたもので、表と背表紙に玉野市史と記載が入る。委託費は、令和 4 年から 8 年までの総額で 2 千 429 万 9 千円であり、中には印刷製本費、郵送料も含まれている。

体制はとして、市史編さん室を設けて、編さん委員会や各課等の意見を伺いながら編集を進めている。

玉野市史Ⅱは第 1 ～ 3 編で構成しており、第 1 編は原始から現代まで、第 2 編は市勢概要、自然気候、人口について、第 3 編が市政や財政、各部署の事業などを踏まえている。

令和4年度から編纂を開始し、目次の校正、書籍の名称の選定を行い、令和5年度に「玉野市史Ⅱ」の名称を編さん委員会で決定した。令和6年度後半から原稿の精査に取り組んでいる。最終年度である令和8年度は、ゲラ原稿が提出、校正を繰り返しながら9月完成、10月末納品を予定している。

主な配布先は、各自治体、市議会、関係部署、公共施設関係など関係各所に配布し、300部程度は保存用として確保したいと考えている。

(小野委員) 玉野市ができた日が、確か8月3日だと思う。何か「玉野の日」のようなものを制定したらどうかと思った。そのようなことを実施している都市部もあったりする。

(社会教育課長) 8月3日の市制施行に合わせて、「玉野まつり」がそのあたりで開催されていることもあるので、そのような意見があったことを政策企画課の方にも伝えながら考えていきたいと思う。

(横山委員) 縦の二段になっているが、横書きでいこうという議論はあったのか。

(社会教育課長) 当初の細かい内容は把握していないが、現在の形も縦書きとなっており、こうした市史関係は横書きではなく縦書きの方が多い書籍であるため、縦書きでいくことになった。ただし、見やすいように字を大きくしたということは聞いている。

(横山委員) 最近の書籍は横書きの方が多く、その方が読者も読みやすいのではないかというのがある。あえて縦書きにされているのは、何か議論があったのかと思った。

(社会教育課長) おそらく当初のものになぞったのだと思う。

(4)「お仕事ノート」の寄贈について

(学校教育課長) 4月20日(月)にお仕事ノートの冊子の寄贈式が行われ、翌日、市内の小学校4年生に配布された。

株式会社ビザビという総合広告代理店が、地域活性化や地域に根ざしたプロモーション事業にも力を入れており、その事業の中で、このようなお仕事ノートを作成している。すでに岡山版、倉敷版、県北版というものがあるが、今回「玉野・東備版」を作成していただいた。これは玉野市の地元企業である宮原製作所の宮原会長が、株式会社ビザビにお仕事ノートの玉野版を打診したことから、今回の玉野・東備版の作成の話が立ち上がったようである。

市内多くの協賛もいただき発行に至った。小学校4年生を対象に冊子を配布しているが、小学校5年生と6年生、それから中学校は全学年にデジタル版を一人1台端末から活用できるよう配布し

ている。地域を学ぶ有効な資料として、積極的に学校の方で活用していきたいと思っている。

7 陳情・要望

(教育次長) 資料により説明

8 その他

(1) 令和8年5月／6月行事予定

(教育総務課長) 資料により説明

(2) 視察研修について

(教育総務課長) 資料により説明

(3) 令和8年度入園・入学者数について

(学校教育課長) 資料により説明

(就学前教育課長) 資料により説明

9 閉 会

次回、教育委員会は令和8年5月21日(木)14:00から開催するので参集願う。以上で、令和8年第6回教育委員会を閉会する。

会議録調整者

書記

遠藤 真由

会議録署名委員

教育長

多田 一也

教育長職務代理人

小野 文子